充テタ(和漢三才圖會ニハ胡枝花トナッテ居レドモコレハ當ニ胡枝子トスベキデアル)ノガ初メデ爾來サウナッテ居ッタガ實ハ胡枝子ハはぎニ酷似シタ別ノ品種デ我日本ニハ産シナイ而シテ我はぎノ漢名ハ今日デハ未詳デアル

去レバ我はぎニ胡枝花、胡枝子ナドノ字ヲ充ツルハ間違デ有ルガ近世ノ漢文ヤ漢詩ナドニハ皆此字ヲ用ヰ甚シキハ白胡枝ナドノ新熟字サヘ用ヰテ有ルカラ胡枝云々ナド、有レバはぎノ事デ有ル位ノコトハ知ッテ置カネバナラヌコトニ成ッタ左ニ最近ノ一例トシテ前田慧雲師ノ曼荼羅通解ノ跋ヲ掲ゲテ置カウ

乙卯(大正四年)九月下澣、雷斧僧正、兩部曼荼羅ヲ上野寛永寺ニ講傳ス余モ往テ聽ク、時ニ庭前ノ胡枝花盛ンニ開ク、恍トシテ七寶瑤珞ノ中ニ逍遙スルノ想有リ(漢文)

九月ハ陰暦ノ八月デ有ッテ異名ヲ萩月ト云ッタ如クニはぎノ花ノ盛リノ月ナレバ右ノ文中胡枝花ノはぎデ有ルコトハ云フマデモナイ其外隨軍茶、觀音菊、天竺花ナド種々ノ漢名ガ充テ、有レド孰レモ誤デ有ル

往時はぎハ花紅葉ト併ビ賞セラレタコトハ續日本後紀卷第三ニ仁明帝ノ『承和元年、八月庚寅、上、淸涼殿ニ內宴ス號シテ芳宜(はぎ)ノ華ノ讌ト曰フ近習以下近衞將監ニ至ルマデ祿ヲ賜フ差アリ』、同書卷第十四ニ『承和十一年、八月辛巳朔天皇紫宸殿ニ御シ芳宜ノ花ノ宴ヲ覽ル、老臣皆復古ノ歎アリ、五位已上ニ衣被ヲ賜フ差アリ』(漢文)ト出テ居ル以テ如何ニ盛宴デ有ッタカガ窺ハルル此承和元年ハ西暦ノ八百三十四年ニ當ル　(未完)

○シーボルトハ世人ガ思フ程ナ植物ノ大學者デハナイ

牧野富太郎

フィリップ、フランツ、フォン、シーボルト(PHILIPP FRANZ VON SIEBOLD)氏ハ獨逸國バヴァリアノウルツブルヒノ人デ西暦一千七百九十六年二月十七日ニ生レ同一千八百六十六年十月十八日ニ同市デ死去シタ同氏ハ和

シーボルトハ世人ガ思フ程ナ植物ノ大學者デハナイ

蘭ノ醫官トナッテ我邦ニ來ッタ人デ我邦ノ文物ヲ西洋ニ紹介セシコトニ就テ誠ニ大功ノアル有名ナ學者デアルコトハ夙ニ世人ノ熟知スル所デアル、然ルニ世間デハ氏ヲ大變ナ植物學者ノ樣ニ誤解シテ居ル人ガ少クナイ是レハ主トシテ彼ノ同氏トツッカリニー(J. G. ZUCCARINI)氏トノ合著トナッテ居ル「フロラ、ヤポニカ」(Flora Japonica)ナル日本植物志ノ大ナル書物ガアルカラデアル然シ此書物ハ唯シーボルト氏ガ其材料ヲ我日本ニ蒐メテ之ヲ歐洲ニ廻シ其命名記載ノ植物學的ノ仕事ハ專ラ同著者トナッテ居ルツッカリニー氏ガ彼ノ土ニ於テ濟シタニ過ギナイノデ之ヲ全然シーボルト氏ガ仕事ヲシタ樣ニ思ッテ居ルノハ其レハ世人ガ其仕事ヲシタ眞相ヲ識ラナイカラデアル醫學博士吳秀三氏ノ著ハセル『シーボルト』ト題セル書(明治二十九年一月發行)ニ『シーボルトガ日本植物ニ關スル著述中ツッカリニー氏トノ合著ナル「日本植物」(編者曰ク即チFlora Japonica)ヲ最トシ當時ノ植物學上ノ一大著述ニメ我邦ニ產スル植物ヲ檢定シテ數多ノ新種ヲ發見シ之ニ羅丁名ヲ附シ之ガ解剖上ノ特徵ヲ記シ精緻ナル圖畫ヲ加ヘテ出版シタルモノナリサレバ今日ニ至ルマデ本邦普通ノ植物ニシテシーボルト、ツッカリニー二氏ノ命名記號Sieb. et Zucc.ヲ學名(羅丁名)ノ末ニ附スルモノ多ク又後人ガシーボルトヲ景慕スルガ爲ニ Sieboldii, Sieboldiana, Sieboldianum 等ノ種名ヲ附セシ植物少ナカラズ

シーボルト氏、

PHILIPP FRANZ VON SIEBOLD.

蓋シシーボルト已前ニケンペルトゥーンベルグ諸氏ノ日本植物ヲ研究シタルモノアレドモシーボルトニ至リテ益多ク其種類ヲ攷定シタリ其ヨリノ後ミックェル氏ノ如キフランシェサバチェーノ兩氏ノ如キ近年ニ至リテハマキシモウィク氏ノ如キ人々大ニ我邦ノ植物ノ檢究ニ力ヲ盡シタリト雖ドモシーボルトガ數十年ノ前ニ既ニ數多ノ種類ヲ考定シタルノ功甚多シトスルニ足レリ』ト記シテシーボルト氏ガ大ニ植物ノ命名考定等ニ就キ自ラ仕事シタ樣ニ書イテアレドモ事實ハ決シテソウデハナイ即チ前ニ既ニ述ベタ樣ニ當時主トシテ其植物檢定ノ勞ヲ執リシハツッカリニー氏デアッテシーボルト氏ハ專ラ其材料供給者ノ位置ニ立ッテ居ッタノデアル假令植物名ノ終リノ命名者ガ SIEB. ET ZUCC. 即チシーボルト並ニツッカリニートナッテ居ッテモ此處ノシーボルトハ單ダ名譽ニ與ヘラレタモノニ過ギナイ其レハ丁度 FRANCH. ET SAV.（フランシェ並ニサヴァチエ）ノサヴァチエ氏ノ名ガ名譽ノ爲メニフランシェ氏ト共ニ併記セラレテアルト同格デアル

シーボルトハ世人ガ思フ程ナ植物ノ大學者デハナイ

シーボルト氏ガ始メテ我日本へ來朝シタノハ今ヨリ九十五年前ノ文政六年（西暦一千八百二十三年）デアッタ同九年ニ氏ハ江戸ニ來タ此時彼レノ齡ハ尚ホ若クテ丁度三十一歳デアッタ此江戸へ來タ時ニ江戸デ有志ノ士ガ盆栽ニシタ植物並ニ鑛物蟲類等ヲ陳列シテ之ヲシーボルト氏ニ觀セ親シク鑑定ヲシテ貰ッタコトガアル此鑑定書（洋紙へ歐字デ書イタ）ノ和字ニ書キ換ヘタモノヲ彼ノ本草圖譜ノ著者ナル灌園岩崎常正ガ臨寫シテ置イタモノガ此下ニ揭ゲタ鑑定記事デアル之レヲ見ルト當時同氏ノ我邦植物ニ對スル智識ハ誠ニ淺薄デアッタ事ガ看取セラルヽ然シ其レハ同氏ニ取ッテハ尤モノ次第トモ云ヘル此レハ誰デモ西洋カラ一足飛ビニ千萬里ヲ隔テタ東洋ノ別天地ニ來テ此異境ノ草木ニ對スレバ恐ラク皆此ノ如クデアラウト思フ其レハソウトシテ同氏ハ其後幾年我邦ニ逗マリシニヨリ無論我邦植物ニ對スル知識ガ歳月ノ進ムニ從ヒ次第ニ增進シ行イタニハ相違ナイト思フガ然シ彼ノ日本植物志ノ大著ハ前述ノ如ク自分デ植物學的ノ仕事ヲシタノデハナク其レハ主トシテツッカリニー氏ガ擔當シタノデアルカラ只漫然ト此書ニ基キシーボルト氏ヲ非常ナ植物學者ノ樣ニ思フノハ固ヨリ誤リデア

シーボルトハ世人ガ思フ程ナ植物ノ大學者デハナイ

ル又シーボルト氏自身デ著ハシタ日本植物ノ小冊子ガアルガ此レデ見テモ同氏ノ我邦植物ニ對スル知識ハ決シテ深奥ナモノデナク寧ロ淺薄ナモノデアル

左ノモノガ即チ岩崎氏ノ寫シテ置イタシーボルト氏ノ鑑定書デアル

文政九丙戌年三月下旬ヨリ四月十日迄荷蘭醫師シイボルトニ盆種ヲ見セ鑒定シ即蘭紙エ自筆ヨコ文字ニテ記シタル品物也

岩崎常正

草類

カハミドリ　羅甸メンタ　フエンニケル 不詳
　アンドウルン○○○○アルピナ 同上（編者曰フ此四字不明）
藿香 唐舶來 アヲハ　不詳
ムラサキヲモト　同
シカナ　同
ハリブキ 日光産　チユシラーゴー
ツルカメバサウ　ピコシヤ
ヤクルマサウ　不詳
狗舌草 千瓣ノ物　シチラリヤ　ヤポニカ
福壽草 長島千瓣　リドニイ　ホルゲンシイ
竹葉延胡索　ユレイタリス　シチウシス

漢種薗茹　ヱウホルビヤ
青根カツラ 骨碎補ノ一種 ホルト所望
大葉川芎
白根アフヒ ホルト所望
アサギリサウ　アルテミシア
ヲニウド 常盤八丈草ト云　不詳
イハチドリ 君カ代ト云　ヲレイデア
キケマン　コリダリス 毒アルヤ不詳
ヒメシヤガ　イリス　シベリカ
琉球紫花半夏　ストリユム
牛扁 レイジンサウ　コロトン
薄バ細辛　ストサリユム　カナデンセ

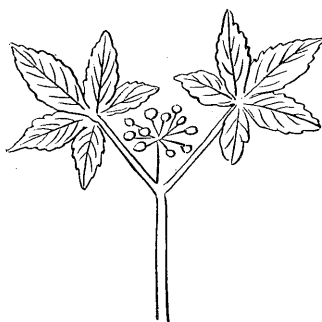
延胡索　コレイダリス テキユムベンス
ヲダマキ　アクウエリギア シベリヤ
マイヅルサウ　マサンフエニユム ベホリユム
ダンドク　カンナ インヂカ藥効ナシ
ムカゴニンジン　ヤポキニユム功ナシ
金レイ花シヒホル所望　蘭ニナシ
ハマヲモト　ニリニユムゼーアユエン或ハサフランニ充ルハ非也
ハブサウ　カシヤア之類センナニ非ス
馬蹄決明　カシヤア
ミツモト猿芽　毒アルヤ不詳
水前草　不詳
ダンキク　ミツテルリーデス
ナベワリサウ　不詳
イケマ　蘭ニナシ　メコアカンナニ非ス
ハスノハカツラ防已類　メイニシペルムン
廣東人參　シユム
ムカゴ人參ノ類ニ非スボルト云唐ノ人參ノ屬ニテタヽ花ノ莖短キヲ異トス漢土朝鮮等ハミナ花ノ莖長ショッテ荷蘭ノ書ヲ出シ圖ヲ我ニ示ス

廣東人參ノ圖如此ヨッテ常正按スルニ吉野直根人參ノ屬トシテ可ナリ三七根或ハムカゴニンジンノ屬ヲ充ルハ大ナル誤ナリ

升麻一種草津産葉ハ白根葵ニ似テ花白糸ヲナス　ゲラニユム歟
過藍菜　テラスピ
鶴ラン琉球　荷蘭ニナシ
蓮　ニプペアン
地黄　メリツテス
宮人草ナツスイセン　ゼーアユエン

木之類

圓葉柱　ラウリユス ミナモミイ
素馨　カランデイフロリユム又ヤスミニユム

シーボルトハ世人ガ思フ程ナ植物ノ大學者デハナイ

シーボルトハ世人ガ思フ程ナ植物ノ大學者デハナイ

榕樹カツマル　ヒキユス
バンシロウ　不詳
サビナ荷蘭ヨリ以前渡ル　ユニペリユス
ハマビハ桂壽果　トメツキス　ヤポニイカ
膽八樹　アルエアルピユス　ヤボニイカ　羅甸
ヲレイフボーム子ノ油ヲヲレイフヲーリート云
竹柏ナギ　ナゲヤ　ヤポニカ
仙人掌（サボテン）石下ノモノ　ビユーンウエイデ
ミツデカクレミノ　アラリヤ
トウツガ　蘭ニナシ
クサリ杉　ヱウプレサス　ヤボニカ
イヌグス　カンプルボーム
木香花　ロウザ蘭ニテ上品トシ藥用ス
シヤリンバイ　コラターガス
ケイマ　不詳
木豆　ヘデイサリユム
ナヽカマド　ソルビユス
フジキ子ムノキ　ソルビユ

釣藤　蘭ニナシ
石寄生　蘭ニナシ
壩齒花ムレスヾメ　アノニスノ一種根モ功ナシ
ミツバウツギ　プマルタ
ワンジユ　ハウヒニヤア
細葉天仙果　ヒクユス
クストキ　不詳
ヤナギイチゴ　ムールベシインノ類
イチゴ
食茱萸　ハラーカノ類
シロモジ一名ウコンバナ　サツサフラス
蘭人シイボルト日本道中ニテ見テ良藥アリト云神經ヲ强壯ニスル大効アリ
椿ノ一種ヂンカウボク　フイーグス
ヤシヤヒシヤク日光　リーベスナラシヽカ
探春花琉球ワウ梅　ヤスミニユム
白ヤマブキ　ユルヒヲールスノ類
カハクルミ兜婁婆香　フラツクセニウース
ヤウロツハニテマンナヲ採ル木ナリト云（甘露蜜ニ充ルモノナリ

○編者曰フ尚動物礦物ノ部アレドモ今此ニ之ヲ省イタ